| 学校番号 | 413 |
|---|---|

# 令和８年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | デッサン演習 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、主に鉛筆によるデッサン技術を習得し、フォルムや立体感、質感を正確に表現できる技術や表現方法を学びます。また、鉛筆だけではなく、木炭やコンテ等の描画材の表現についても学びます。
・芸術系の実技入試に対応するデッサン力を身につけてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】基礎的な描写力や明暗のつけ方等の技法を学ぶ。
【思考力、判断力、表現力等】描画材を工夫することで、個性的なデッサンの作品を表現する。
【学びに向かう力、人間性等】主体的に描写活動に取り組み、表現活動の喜びを学ぶ。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・作品を制作するための描写力や表現の知識・技能・技術を基礎に、より造形的で個性的な作品を表現する。 | ・対象物を立体的にとらえ、画面上に立体感をもった作品に表現する。<br>・描画素材を工夫し、より個性的な作品を表現する。 | ・主体的にデッサン表現に取り組むとともに、他者の作品の良いところを鑑賞活動を通して、自作に生かそうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | 鉛筆クロッキー | ・鉛筆を使った人物クロッキー<br>(人物の全身像) | a:造形的な要素を理解し、描写力や表現力を身につけている。<br>b:描画素材の特性を生かし、形体の要素について考え、表現の構想を練っている。<br>c:主体的に作品に取り組んでいる。 | 描写力<br>立体感 | 描線の工夫<br>明暗のつけ方の工夫 | 作品に取り組む姿勢 |
| | 立方体と円柱 | 基本的な立体のデッサン表現を学ぶ。 | a:ケント紙を使い立方体と円柱を自ら制作する。<br>b:鉛筆の特性を生かし、形体の要素について考え、立体表現を工夫する。<br>c:主体的に作品に取り組んでいる。 | 描写力<br>立体感 | 描線の工夫<br>明暗のつけ方の工夫 | 作品に取り組む姿勢 |
| 二学期 | 静物デッサン | 木槌と軍手、ペットボトル | a:３つのモチーフを組み合わせた画面構成を工夫する。<br>b:鉛筆の特性を生かし、形体の要素について考え、質感の違いにも注意する。<br>c:主体的に作品に取り組んでいる。 | 描写力<br>立体感 | 描線の工夫<br>明暗のつけ方の工夫 | 作品に取り組む姿勢 |
| 三学期 | モノクロの絵本 | 単色による描画素材による絵本の制作 | a:オリジナルストーリーを考える。<br>b:絵本の画面構成を工夫し、個性的な作品を表現する。<br>c: 主体的に絵本の表現活動に取り組んでいる。 | テーマやモチーフの描写力<br>場面構成力 | ストーリーの工夫<br>テーマの工夫と表現力 | 作品に取り組む姿勢 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度